

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024 年 6 月 25 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	商学部商学科マーケティングコース
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024 年 5 月 31 日
明治大学卒業予定年月	2025 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	ネブラスカ大学オマハ校(日本語名) University of Nebraska Omaha(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	English/
留学期間	2023 年 8 月～2024 年 5 月
留学先大学で在籍した学年	3 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月下旬～12 月下旬 2 学期: 1 月中旬～5 月中旬 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	15,526 人
創立年	1908 年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (\$)	日本円	備考
授業料	0	0円	交換留学のため、留学先への授業料免除
宿舍費	7,062.5	1,094,687.5 円	以降 1\$=155 円
食費	3,500	542,500 円	
図書費		円	宿舍日に含まれる
学用品費	500	77,500 円	教科書、計算機
携帯・インターネット費	0	0円	
現地交通費	0	0円	無料シャトルバスあり(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	1,800	279,000 円	
被服費	60	9,300 円	
医療費	0	0 円	
保険費	948	146,990 円	形態：明大マート経由
渡航旅費	1,715	265,850 円	
ビザ申請費	0	0円	
雑費	0	0円	
その他	0	0 円	
その他	0	0 円	
合計	14,577.5	2,259,512 円	

渡航関連

渡航経路

往路 出発地:羽田空港 目的地:オマハエプリーフィールド空港 経由地:デトロイトメトロポリタン空港、ダラスフォートワース国際空港

復路 出発地:オマハエプリーフィールド空港 目的地:羽田空港 経由地:シカゴオヘア空港

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合
航空会社:

料金:

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社:デルタ航空、アメリカン航空 料金:265,850 円

復路 航空会社:アメリカン航空、日本航空 料金:202,709 円 ∴合計:468,559 円

航空券購入方法

☐ 旅行代理店(店名:)

☒ インターネット(サイト名:Expedia と公式サイト)

☐ その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)

☒ 学生寮(寮の名前:University Village) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数)

3) 共有部分

☐ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法:

留学先のお一明治みたいなサイト

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

相手によってはストレスが溜まるかも知れませんが、そこに関しては運なので、嫌なことがあったら直接相手に言えいいと思います。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☒ なし

☐ あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

インターネット

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

どこにでもWi-Fiがありますが、寮のWi-Fiの初期設定が難しかったです。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードを使用

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

特になし

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
30 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☒ 履修の制限があった: 金銭的問題	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
ESL I	第二言語としての英語
科目設置学部・研究科	English
履修期間	8 月から 12 月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ゼミ形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が2回
担当教授	Sarah Osborn
授業内容	英語を第二言語として学んでいるための講義。英語でのエッセイの書き方やディスカッションを行い英語全般の講義。
試験・課題等	エッセイの課題が 4 つ出され、それぞれ評価される。
感想を自由記入	あらゆる国籍の人が受講しているためさまざまな考え方を知れる面白い授業でした。さらに、本当に第二外国語なのかと思うくらいみんな喋れるので、自分自身の問題だけでなく、他国と日本の英語教育の差も大きいのではないかなと感じました。また、ヨーロッパや南米の生徒は常に喋っているので、文化や授業に対する考え方の違いも知ることができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Data literacy and visualization	データリテラシーと可視化
科目設置学部・研究科	Statistics and Math
履修期間	8 月から 12 月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式とグループワーク(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Becky Brusky
授業内容	データの見方やミスリードなグラフ、データ分析する際のエクセルの使い方を学ぶ。また、データを活用できる形に可視化する方法を学ぶ授業。
試験・課題等	エクセル課題とグループワークのプレゼンテーションにより評価される。
感想を自由記入	将来的に数字に触れたり、データを分析する仕事をしていく必要があるのではないかと思いますので、さわりとしてこの授業を取りました。Excel や Tableau を活用しデータを可視化し、意思決定をすることが授業の根幹で、グループワークでは、オマハの選挙データをもとにどんな特徴(地域、政党、コミュニケーションツール)が当選する確率が高いかを予測してプレゼンテーションをするのは難しいですが、面白かったなと思っています。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Introduction to BUbusiness		ビジネス入門	
科目設置学部・研究科	Management		
履修期間	8 月から 12 月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	オンライン講義と教科書(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 160 分が 1 回		
担当教授	Paul McMeekin		
授業内容	ビジネスにおける基礎から現在使われている手法まで幅広く学ぶ授業。		
試験・課題等	毎週のクイズとケーススタディ、ビジネスモデルの考案により評価が決まります。		
感想を自由記入	私はこの授業を受けてビジネスのタイプ、規模、業種、形態、セクション別の機能(supply chain, accounting, finance, people, marketing, sales, management)やステークホルダーの種類など自分がビジネスを始める上で基礎となる部分を大いに学ぶことができました。加えて、今まで私が明治大学で学んできたマーケティングは総合的なものではなく、部分的なものでマーケティングだけではモノやサービスを利益にすることはできず、マーケティング前後の過程までの過程、例えば、商品開発やサプライチェーンの構築、最適化、資金調達、人的資本の雇用と維持などありとあらゆる要素が噛み合ってビジネスとして成り立つのだと感じました。この授業を取ったことにより後期にマーケティングに縛られず、マネジメントやファイナンス、アカウンティングを取るきっかけになったため、自分のキャリアを考える上で大きな契機となりました。毎回の授業に関するクイズやビジネス上での問題点を明らかにするケーススタディやテスラのSWOT 分析と今後の動向を考えるケーススタディやこれまで学んだビジネスモデルを使った新たなビジネスプランのプレゼンテーションなど今までしたことのない授業だったため、難しい反面とても為になりました。自分が起業をした際には学んだことを活かしていきたいと感じました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Public administration	行政学
科目設置学部・研究科	Public Administration
履修期間	8 月から 12 月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式とディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Ryan Rouse
授業内容	アメリカの行政における歴史と政策の流れ、政治と行政の関係に関する授業。
試験・課題等	3 回のクイズとエッセイ、ケーススタディ、リサーチペーパーによって評価がされる。
感想を自由記入	この行政学のコースを受講して、本当にいろいろと学びました。まず、行政の主要な理論や政策の流れ、政治と行政の関係について深く理解できたことが大きかったです。また、公共や非営利組織の管理者がどれだけ重要な役割を果たしているかも学びました。具体的なケーススタディや実務経験のある教授の話聞くことで、理論だけでなく現場のリアルな視点も身につけることができました。例えば、災害時の迅速な意思決定や非営利組織の資金調達の難しさとその解決方法など、具体的な場面での対応策を知ることができました。加えて、意思決定の際に行政官は異なる意見を調整して合意を得る、そしてその調整をすることの重要性がいかに高いかをこの講義を元に学びました。この授業のおかげで公衆衛生や非営利病院が公共の福祉を損なう動きなどより公益の最大化や組織の透明性の課題に対して深く考えるきっかけとなりました。今まで過ごしてきたわけではない国の政治や行政ではあったものの地震の考え方に強い影響を与える有意義な授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Finance		金融論
科目設置学部・研究科	Finance and Banking	
履修期間	1 月から 5 月	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 160 分が 1 回	
担当教授	Brian C. Payne	
授業内容	割合(Ratio)やリスク、株式、債権、割引債、など金融の基礎の概念について学び、それぞれの計算方法を学ぶ。3 回の試験	
試験・課題等	毎回 In-class exercise があり、学んだことの確認としての宿題もありました。	
感想を自由記入	この学期のファイナンス授業は挑戦的でありながら充実していました。授業は毎週火曜日に 2 時間 40 分あり、夜の時間帯に慣れるのは大変でしたが、次第に集中できるようになりました。毎週の In-Class exercise は重要な学習要素で、課題としても出されました。授業後も夜 10 時頃まで残り、先生に何度も質問しました。私はマーケティング専攻でアカウンティングの知識が不足していたため、授業外でもチューターのオフィスを訪れ、追加のサポートを受けました。そのため、この授業には他のどのクラスよりも多くの時間をかけました。難しい概念に直面した際は、一人で悩まずにさまざまなリソースから助けを求めました。教科書に付属する動画も利用し、理解を深めました。この授業は多くの時間と努力を必要としましたが、ファイナンスの基礎をしっかりと学ぶことができ、キャリアにも役立つと感じています。サポートシステムを活用し、粘り強く学習することの重要性を改めて認識しました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Financial Reporting & analysis		財務報告、分析論
科目設置学部・研究科	Finance and Banking	
履修期間	1 月から 5 月	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 75 分が1回	
担当教授	Laura Beal	
授業内容	企業の財務諸表の読み方とそれが何を意味するかを学ぶ。割合の出し方やリスクの計算方法を学ぶ。	
試験・課題等	財務諸表を作るエクセル課題、定期的な復習問題の課題。3 回の試験	
感想を自由記入	私自身明治大学でマーケティングを専攻しているため、会計や金融に関してほとんど知識がないため、将来のためにもと思いこの授業を受けました。財務諸表の書き方や読み方、その数値が何を意味しているか、や EPS や様々な Ratio の計算方法やそれらが示すもの、Risk analysis や Revenue recognition など今まで触れてこなかったことを一気に学びました。その分理解できない概念やなぜそのように計算できるのか、専門用語に苦しめられた分、試験が終わった時にはとてつもない達成感を得ました。また、この授業では実際の会社の 10-k などを元に進んだため社会人になるにあたって、この授業の内容が社会との関連が深く履修をして良かったと感じました。さらに日本の財務諸表に関して簿記3級程度しか触れていないためこれを機により難しい内容を自分で勉強し、自身の知識を深めていきたいと感じました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
International marketing		国際マーケティング論
科目設置学部・研究科	Marketing	
履修期間	1 月から 5 月	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回	
担当教授	Arvind Agrawal	
授業内容	国際的な観点でマーケティングを学ぶ。時刻だけでなく他国でどうやって商品を展開するか、販促するかについて学ぶ。	
試験・課題等	毎回の復習課題、毎回のトピックに沿ったディスカッション、グループワーク、2 回の試験	
感想を自由記入	この授業はマーケティングコースを学んできた私にとって興味深いものでした。今まで日本で学んできたマーケティングと似ているようで全く異なり、海外市場の文化や環境に合わせる場合もあれば自国のマーケティング手法をそのまま適用するというように、単に海外市場へ参入するとはいえ考えるべき要素が多く面白いと感じました。さらに、マクドナルドやコーラ、ペプシ、スタバ、ノースフェイス、バーガーキングなどアメリカ発の会社のマーケティングを例にグローバル化していく時にどうやって展開していったかをディスカッションで学び、各企業が国の貧困度合いや文化に合わせたモノや価格設定を知れたのが面白かったです。 それだけでなく、他国も巻き込むことでインフレの考慮や貿易赤字、為替、一物一価や購買力平価など単にモノを海外で売るだけでない複雑さが増すため、国際と築くマーケティングではあるもの面白いだけでなく奥が深い内容だと感じました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Consumer behavior		消費者行動論
科目設置学部・研究科	Marketing	
履修期間	1 月から 5 月	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 75 分が 1 回	
担当教授	Arvind Agrawal	
授業内容	消費者行動を細分化し、どのような要因、動機、感情をもとに購買行動がなされるかについて学ぶ、	
試験・課題等	毎回の復習課題、毎回のトピックに沿ったディスカッション、グループワーク、2 回の試験	
感想を自由記入	私は消費者行動を研究するためには、性別や価値観、言語や文化、年齢など様々な要因を考慮する必要があり複雑な学問で難しかったです。しかし、心理学や経済学、社会学、マーケティングと一つの学問で完結せず、多角的な視点から学ぶことに面白さを感じました。加えて、自分の購買行動を理論的に理解し説明することができ、自身の購買における意思決定がどれだけ他者からの影響(家族や友人、有名人など)による部分が多いのかということを知りました。 また、グループワークで一つの CM を題材にどんなマーケティング手法が使われ、どのような戦略のもと広告を打っているかなどを分析しレポートやプレゼンテーションを行いました。これにより実際のマーケティング戦略がどのように消費者行動を反映しているか具体的に理解することができました。難しく複雑な授業ではありましたが、自身の将来に役立つものになったと感じました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Management Information System		経営情報システム論	
科目設置学部・研究科	Management		
履修期間	1 月から 5 月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Christopher B.R. Diller		
授業内容	経営における情報システムを技術面だけでなく、組織論、経営戦略論、ガバナンスと関連付けて学ぶ。		
試験・課題等	MyLab IT のエクセル課題と 4 回の試験		
感想を自由記入	この授業は他の授業に比べ課題も少なくほとんどが授業内の講義で完結する授業でした。というのも Dr. Diller は自身の実務経験をもとに講義内容を実社会でどのように使われているかを的確に示していたため、わかりやすく特に、MIS(経営情報システム)の開発・運用において、単に技術面だけでなく、組織論や経営戦略論、ガバナンスとの関連性を重視している点が印象的でした。さらにビジネスのプロセス、倫理的な意思決定や知的財産に関する課題、IT インフラにおけるハードウェアとソフトウェアのトレンド、データベースの管理システム、インターネットの仕組み、情報システムの脆弱性(Malware や Dos など)、SCM や CRM software,ナレッジマネジメントやそのための Intelligent techniques(AI や Machine learning)など情報システムに関わるありとあらゆる領域を総合的に学びました。最先端の技術や理論に関して学びを深めることができ、かつその活用方法まで知ることができとても有意義な授業でした。しかしそれだけでなく先生が授業後に話す \$ 1500 idea の話は社会で働く際に何を意識して仕事をするか、どのように情報を管理するか、グローバル化した社会でのマナー、TCO(Total cost of ownership)の重要性などどのように社会を生きるかの話はこれからの私にとっても興味深い内容でした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Introduction to Supply Chain Management		サプライチェーンマネジメント入門	
科目設置学部・研究科	Supply Chain Management		
履修期間	1 月から 5 月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Jenny Hoang		
授業内容	サプライチェーンに関して総合的に学ぶ。実際の企業 Amazonなどを例に授業が展開されていく。		
試験・課題等	毎週のクイズ、10個のエッセイ課題、5つのプロジェクト課題により評価がされる。		
感想を自由記入	毎回の授業がオンラインで教材が YouTube や Netflix を活用し、映像から見て授業で学んだことがどこで活用されているかそこをかんがえるのがおもしろかったです。というのもアマゾンの Amazon Go の動画やトヨタの生産ラインの動画、チョコレート製造のドキュメンタリーと私の目に見えないものに対して考えをめぐらすことにものすごく面白みを感じました。また、project においてかされた、洗車をする際にどんなビジネスプロセスが行われているかを調べた時、クレジットカードの認証にかかわる組織や技術をしり、サプライチェーンの幅は物流だけにとどまらず、お金のうごきや、関係組織などありとあらゆるものがかわって成り立っているのだと実感しました。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)
☐ 就職 ☐ 進学 ☒ 未定 ☒ その他: 休学
1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等
ボスキャリア
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
繊維系専門商社、営業職
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。 就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
留学先での就活は時差や時間管理があるため、思っていたよりも大変でした。私自身、就活が中途半端でやりきれなかったと思ったため休学して就活をしようと考えています。さらに、留学先の金融関係の授業を受けたことで金融に興味を持ったため、そっちの方に就職したいと考えています。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
試験のためならばとにかく語彙を増やし、たくさん口に出すことが大事だと思います。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1 月 ～ 3 月	TOEFL 対策
	4 月 ～ 7 月	TOEFL 受験
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	出願、面接
留学開始年	1 月 ～ 3 月	留学先決定
	4 月 ～ 7 月	パスポート取得、滞在先確保
	8 月 ～ 9 月	渡航、授業開始
	10 月 ～ 12 月	春学期、ボスキャリア
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	冬休み、秋学期、学期休み
	4 月 ～ 7 月	秋学期、帰国
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

私は出生の関係もあり、アメリカの教育に興味があり、どこかのタイミングで受けてみたいと大学入学前から考えていました。オマハを選んだ理由を押して、せっかくの留学で東京のような場所に行くくらいだったら、もしかしたら一生行くことがない田舎に行ってみたいと思いこの場所を選びました。加えて、TOEFLの成績を最低限しか取っていなかったの、その点数で出せるところという理由もありました。

留学生活に関して、オマハは田舎ではあるものの栄えてはおり、一面、とうもろこしばたけというわけではありません。しかし、アメリカならおそらくどこでもそうですが、車が無ければ買い物すらできないという地なので、早々に現地の生徒に声をかけてウォルマートに連れて行ってもらったり、バスが無料だったのでそれで買い物行ったりしていました。そのため、オマハでは勉強するか、筋トレするか、料理するか、ポーカーするかというような生活をしていました。今思えば、何かイベントを企画してみるのも良かったんじゃないかなと思っています。

オマハでの生活だけでなく私は毎月どこかに旅行に行っていました。例えば、オマハに行く前に大谷翔平を見るためにダラスで2泊して野球を見に行ったり、友人とロサンゼルス旅行、車でシカゴやナイアガラの滝、出生地、ラスベガスなどなどしてみたいことはほとんどしたんじゃないかなと思います。あとはラーメンが食べたすぎて、自分で二郎系ラーメンを作ったりなんかもしました。確か20人以上にはサーブしました。どれもいい思い出です。

後輩学生へのアドバイスとして、留学した10ヶ月を振り返ると楽しいことばかりだったかなと思っています。というのも、アメリカで起きることは全ていい経験として捉えていたからです。先生と生徒が議論していることや、生徒が自分の発言に対して意見を言うことなど、今まで経験したことないことだからこそ毎日が刺激的でした。楽しいだけでなく、苦労もたくさんありましたが、いい経験したかなと思っています。

全てが東京と真反対の環境(英語、田舎、不便)だからこそ最高の経験だったかなと思っています。

留学を決意する理由に正解はないと思います。私もとりあえず行ってみようの気持ちで行ったので、明確な理由はなくてもいいんじゃないかなと思います。

留学に興味があるだけでなく、行けるチャンスが目の前にあるなら挑戦してほしいかなと思います。

最後まで読んでいただきありがとうございます。頑張ってください！